

◎昭和48年度第3回理事会議事録(48.8.24)出席者：荒木，内田，横道(委任状)の各副会長，下村専務理事，足立，赤野(委任状)，石上(委任状)，市田，岩出，大久保，近藤，佐藤(委任状)，田辺(委任状)，椿(委任状)，長尾，林，富士野，福岡，松本(委任状)，水越(委任状)，室田，吉田(委任状)の各理事，渡辺監事。議事録署名理事の決定：内田副会長，下村専務理事，岩出理事。A. 報告事項：1) 会計報告：下村専務理事から概略説明があり，了承。2) 各種委員会その他報告：説明を省略して了承。なお本件に関して，理事会としては各種委員会の活動内容を把握できない現況に鑑み，なんらかの措置を講ずるべきではないかとの意見があり，種々論議の結果，意思疎通の場として目下実施中の会務担当理事と各委員会委員長との委員会運営上の問題点をテーマとしたグループごとの会談をさらに推進することとして了承。3) 会務担当(総務・経理)理事会報告：下村専務理事から，去る8月10日(金)に会務担当(総務・経理)理事会を開催して ① 第2回理事会において会務担当理事会で検討することとされた「土木学会・会議，委員会等の旅費規程の一部変更について」，② 事務局職員に係る「住宅資金貸付規程の一部変更について」それぞれ審議し，① については現行の旅費等の定額を改正しようとするものであり，その審議経過等が議事と重複するため議題1) において改めて説明することとし，② については事務局職員の要望により貸付限度額を増額することの可否その他について検討した結果，おおむね了解点に達したが，条文整理等についてさらに検討を要するので今回は「規程変更」について提案するに至っていない，とそれぞれ報告があり，了承。4) 土木学会定款変更認可報告：下村専務理事から，さきに文部大臣に認可を申請していた「定款の一部変更」について，資料のとおり認可があった旨およびその概要について報告があり，了承。B. 協議事項：1) 土木学会・会議，委員会等の旅費規程の一部変更について；下村専務理事から，会務担当(総務・経理)理事会における審議経過概要その他について資料により説明があった後，種々論議された結果，旅費および交通費の定額等を変更し，昭和48年9月1日から実施することに決定。なお，審議の過程にお

いて，現行条文について，表現変更を行なうこととし，その条文については事務局一任とあわせて決定。2) 橋梁用マスコンクリートの打設に関する調査研究の受託について：次の委託研究について，事務局員の資料朗読後，下村専務理事から概略説明があり，異議なく受託することに決定。

- a 委託者 本州四国連絡橋公団
- b 研究題目 橋梁用マスコンクリートの打設に関する調査研究
- c 目的 本州四国連絡橋における問題点について，合理的な打設方法を追求し，打設基準を作成する。
- d 期間 1年6ヵ月
- e 研究費用 昭和48年度分約350万円

3) 表彰委員および論文賞選考委員会の理事会選出委員の指名については：下村専務理事から，資料により概略説明があった後，異議なく次のとおり決定。

- | | |
|----------|----------|
| 表彰委員会 | 大塚理事(留任) |
| | 平嶋理事(〃) |
| | 浜 理事(新任) |
| 論文賞選考委員会 | 松本理事(留任) |
| | 室田理事(新任) |

4) その他：① 会員入退会について；下村専務理事から概略説明があり，異議なく承認。② 次の理事会について。

◎各種委員会

(1) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会塗装示様書原案作成班打合せ(48.7.6) 出席者：菅野特別委員，ほか8名。議事：塗装示様書原案の検討。

(2) 水資源問題懇談会(48.7.6) 出席者：石原座長，ほか11名。議事：水資源に関する国際会議間の調整について。

(3) 環境問題小委員会(48.7.7) 出席者：松本委員長，南部副委員長，ほか9名。議事：環境問題シンポジウムについて。

(4) 水理委員会第2回幹事会(48.7.7) 出席者：嶋委員長，岩佐幹事長，ほか8名。議事：1) 議事録の確認。2) 第18回水理講演会応募課題について。3) 昭和49年度研究小委員会課題および代表委員について。4) 第16回IAHRのスローガンについて。

(5) 環境問題小委員会廃棄物分科会(48.7.7) 出席者：関係者4名。議事：固体廃棄物についての打合せを行なった。

(6) コンクリート標準示方書改訂小委員会第6分科会(48.7.9) 出席者：山崎主査，ほか9名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち練り混ぜ，打込み，養生，仕上げについての審議。

(7) 創立60周年記念出版「功績賞受賞者，声の記録」編集小委員会(48.7.9) 出席者：八十島出版部会委員長，森小委員長，ほか3名。議事：1) 小委員会の構成について。2) 功績賞受賞者について。3) 「声の記録」編集の方法について。

(8) 学会誌編集小委員会(48.7.9) 出席者：天野委員長，ほか8名。議事：1) 経過報告。2) 受付原稿査読。3) 学会誌11，12月号の編集およびAnnual'74の編集。4) その他。

(9) コンクリート標準示方書改訂小委員会第9分科会(48.7.10) 出席者：原口主査，ほか5名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち水中，対海水コンクリートについての審議。

(10) 鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会・汎用RCセグメントの規格化に関する研究分科会合同分科会(48.7.10) 出席者：村上，山本の両主査，ほか20名。議事：汎用RCセグメントの規格化本文および鋼製セグメントの規格化解説の審議。

(11) 海外活動委員会幹事会(48.7.10) 出席者：吉越委員長，赤木幹事長，ほか8名。議事：1) 前回幹事会報告。2) 研究会および講演会について。3) 編集小委員会について。4) 48年度委員会構成について。5) その他。

(12) 原子力土木委員会立地部会(48.7.11) 出席者：松井部会長，ほか17名。議事：1) 昭和47年度科学技術庁原子力平和利用委託研究報告。2) 昭和48年度科学技術庁受託報告。3) 沿岸立地分科会報告。4) 一般立地分科会報告。5) その他。

(13) 科学技術庁委託研究地下立地安全性研究班(48.7.11) 出席者：丹羽主査，ほか11名。議事：テーマ1，テーマ2の研究手法，モデル，境界条件，初期条件の決定。

(14) 岩盤力学委員会第1分科会グラウト班幹事会(48.7.11~12) 出席者：関係者4名。議事：“ダム基礎岩盤のグラウティングの施工実例集”原稿の最終編集作業。

(15) コンクリート標準示方書改訂小委員会第10分科会(48.7.12) 出席者：津野主査，ほか7名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち型わく，支保工

についての審議。

(16) トンネル工学委員会打合せ(48.7.13) 出席者：関係者8名。議事：1) トンネル米國視察団来日の件について。2) 国際トンネル協会の件について。

(17) 下水汚泥・脱水等に関する調査分科会(48.7.13) 出席者：寺島委員長，ほか17名。議事：報告書の最終とりまとめを行なった。

(18) 青函トンネル土工研究委員会第1回委員会および現地視察(48.7.14) 出席者：岡本委員長，ほか27名。議事：1) 竜飛方土圧測定試験について。2) 吉岡方膨張性地質について。3) その他；現地視察(48.7.13)：吉岡鉄道建設所現場。

(19) 視聴覚教育委員会(48.7.14) 出席者：鈴木委員長，水田幹事長，八十島60周年記念事業出版部会長，ほか12名。議事：1) 委員の業務分担について。2) 60周年記念事業「映画製作」について。

(20) 原子力土木委員会耐震部会(48.7.16) 出席者：岡本部会長，ほか11名。議事：1) 報告書Ⅳの原稿審議。2) 報告書Ⅵ「立地と断層」原案審議。3) その他。

(21) トンネル工学委員会運営小委員会(48.7.16) 出席者：坂本副委員長，ほか5名。議事：1) トンネル米國視察団来日の件について。2) 国際トンネル協会の件について。

(22) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会製作分科会(第2回)(48.7.17) 出席者：堀川主査，ほか12名。議事：1) 既存の製作仕様について。2) 品質管理方式について。

(23) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会塗装分科会(第24回)(48.7.17) 出席者：佐藤主査，ほか9名。議事：1) 議事録の確認。2) 塗装仕様書原案作成班・塗装規格原案作成班経過報告。3) その他。

(24) 行事企画委員会打合せ(48.7.17) 出席者：関係者7名。議事：下水道技術者のための講習会実施について。

(25) 創立60周年記念日本の土木技術編集委員会(第6回)(48.7.17) 出席者：沼田委員長，鈴木副委員長，ほか5名。議事：各編の内容と執筆の基本方針について。

(26) 鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会・汎用RCセグメントの規格化に関する研究分科会合同分科会(48.7.18) 出席者：山本，村上の両主査，ほか15名。議事：鋼製RCセグメントの

規格化に関する原案審議。

(27) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会座席分科会(第13回)(48.7.18) 出席者：福本主査，ほか9名。議事：リブ付板の設計要領について。

(28) 論文集編集委員会第1小委員会(48.7.18) 出席者：岡内主査，ほか11名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(29) 創立60周年記念出版「土木地理(仮称)」編集小委員会(48.7.19) 出席者：小川小委員長，ほか4名。議事：編集小委員会の構成について。2) 編集の基本方針について。3) 編集にあたっての今後の進め方について；①資料収集と検討，②目次構成，③執筆と編集。

(30) 行事企画委員会(48.7.19) 出席者：森委員長，千秋副委員長，ほか14名。議事：1) 委員会内規。2) 夏期講習会。3) 土木技術者のための下水道講習会。4) 委員会の運営方針。

(31) 構造工学委員会構造物安全性研究小委員会(第3回)(48.7.19) 出席者：小西委員長，ほか12名。議事：1) 委員の異動について。2) 講演：船体構造の安全性について／日本海事協会 山口勇男氏。3) 報告の検討およびとりまとめ。

(32) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第19回幹事会(48.7.19) 出席者：大久保委員長，ほか10名。議事：1) 耐風実験橋について。2) 耐風設計基準。3) 風洞試験基準。4) その他。

(33) 論文集編集委員会第5小委員会(48.7.19) 出席者：武田主査，ほか6名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(34) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会斜面およびり面分科会(48.7.20) 出席者：関係者7名。議事：斜面およびり面に関する検討。

(35) 海岸工学委員会幹事会(48.7.20) 出席者：尾崎委員長，堀川幹事長，ほか9名。議事：1) 議事録の確認。2) 第20回海岸工学講演会について。3) 業界案内欄掲載について。4) Coastal Engineering in Japan, Vol. 16について。5) 昭和48, 49年度編集小委員会について。6) 土木学会論文賞選考委員会委員推薦依頼について。

(36) 論文集編集委員会第3小委員会(48.7.20) 出席者：稲田主査，ほか8名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(37) 論文集編集委員会第4小委員会(48.7.20) 出席者：松本主査，ほか4名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(38) 海岸工学委員会(48.7.20) 出席者：尾崎委員長，石原顧問，堀川幹事長，ほか31名。議事：1) 議事録の確認。2) 第20回海岸工学講演会について。3) 第20回海岸工学講演会論文集業界案内欄掲載について。4) Coastal Engineering in Japan, Vol. 16について。5) 昭和48, 49年度編集小委員会について。6) 土木学会論文賞選考委員会への委員推薦について。

(39) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(48.7.23) 出席者：岩井委員長，ほか14名。議事：1) 昭和47年度調査研究報告；①肥料にもとづく栄養塩類の流出に関する調査，②降下塵と雨水中の栄養塩類について，③内湖水質と生物相について，④今後の問題点について。2) 昭和48年度の調査計画。

(40) 論文集編集委員会第2小委員会(48.7.23) 出席者：土屋主査，ほか9名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(41) 橋梁年報編集小委員会(48.7.23) 出席者：阿部委員長，ほか3名。議事：1) 「橋1972~1973」の編集について。2) 広告掲載について。

(42) 学会誌編集委員会打合せ(48.7.24) 出席者：関係者3名。議事：1) 学会誌第58巻11月号の第三次特集原案作成方協議。2) その他。

(43) 昭和48年度第1回沈埋トンネル耐震設計研究委員会(48.7.24) 出席者：岡本委員長，伊吹山副委員長，ほか17名。議事：1) 委員長挨拶。2) 委託者側挨拶。3) 新旧委員の交代。4) 講演：ジョイントの可撓性および止水性について／伊吹山四郎委員。5) 昭和47年度報告書について。6) 昭和48年度の計画について。7) その他。

(44) 土木計画学研究委員会第8回土木計画学シンポジウム第1回執筆打合せ(48.7.24) 出席者：関係者12名。議事：1) 経過報告。2) 第8回土木計画学シンポジウムの協議内容紹介同質疑。3) 執筆諸件協議。4) その他。

(45) 昭和48年度耐震工学委員会(第1回)(48.7.24) 出席者：岡本委員長，久保副委員長，ほか20名。議事：1) 委員長，副委員長の選出。2) 連絡ならびに協議事項；① IAEE および 5 WCEE

について、②関東地震 50 周年記念地震工学シンポジウムについて、③論文賞選考委員会委員推薦について、④今後の委員会、研究会活動（特にテーマ）について、⑤その他。3) 次回開催について。

(46) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 11 分科会 (48.7.25) 出席者：野口主査，ほか 6 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうちプレバックドコンクリートに関する条項の審議。

(47) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会解析分科会 (第 14 回) (48.7.25) 出席者：大地主査，ほか 13 名。議事：1) 吊橋のねじり解析。2) トラスの解析。3) 大変形解析。4) アーチ解析。

(48) 論文集編集委員会主査幹事会 (48.7.25) 出席者：稲田副委員長，土屋，武田の両主査，ほか 5 名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 各小委員会報告。3) 論文報告集第 218 号登載原稿について。4) 論文報告集討議について。5) その他。

(49) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第 17 回委員会 (48.7.26) 出席者：大久保委員長，ほか 12 名。議事：1) 資料紹介。2) 耐風設計基準について。3) 耐風実験橋について。4) 風洞試験基準について。

(50) 建設業に関する懇談会 (48.7.26) 出席者：高野座長，ほか 27 名。議事：積算関係について検討。

(51) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 8 分科会 (48.7.26) 出席者：山崎主査，ほか 8 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち練り混ぜ，打込み，養生，仕上げについての審議。

(52) 青函トンネル土工研究委員会土工小委員会 (第 2 回) (48.7.26) 出席者：嶋小委員長，ほか 13 名。議事：土圧測定計画について。

(53) 海外活動委員会 (48.7.26) 出席者：吉越委員長，ほか 11 名。議事：1) 委員長挨拶。2) 自己紹介。3) 委員会内規の説明。4) 48 年度委員会活動について；①研究会開催について，②海外事情に関するシンポジウムについて。5) その他。

(54) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 10 分科会 (48.7.27) 出席者：津野主査，ほか 7 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち型わく，支保工に関する条項の審議。

(55) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会塗装仕様書原案作成班打合せ (48.7.27) 出席者：関係者 11 名。議事：塗装仕様書原案の検討。

(56) 原子力土木委員会耐震部会打合せ (48.7.27) 出席者：関係者 7 名。議事：1) 報告書Ⅳの審議。2) その他。

(57) 第 4 回岩の力学国内シンポジウム第 2 回運営委員会 (48.7.27) 出席者：小野寺委員長，ほか 6 名。議事：1) 発表論文採否の決定。2) プログラムについて。3) 特別講演，司会者について。4) 原稿執筆要項，応募者への通知について。5) 広告掲載方依頼について。6) 見学会，懇親会について。7) 各機関の岩の分類の講演集巻末掲載について。8) その他。

(58) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 13 分科会 (48.7.28) 出席者：村田主査，ほか 5 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち人工軽量骨材に関する条項の審議。

(59) 視聴覚教育委員会 (48.7.28) 出席者：鈴木委員長，水田幹事長，ほか 9 名。議事：60 周年記念事業「映画製作」について。

(60) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 9 分科会 (48.7.30) 出席者：原口主査，ほか 4 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち水中，海水コンクリートに関する審議。

(61) 鋼構造委員会鋼構造架設小委員会第 8 回幹事会 (48.7.30) 出席者：菊池委員長，ほか 7 名。議事：鋼構造架設の現況と問題点の原稿の検討。

(62) 鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会・汎用 RC セグメントの規格化に関する研究分科会合同分科会 (48.8.1) 出席者：村上，山本の両主査，ほか 12 名。議事：鋼製 RC セグメントの規格化に関する原案審議。

(63) 岩盤力学委員会第 2 分科会 (第 5 回) (48.8.1) 出席者：池田主査，ほか 15 名。議事：1) 前回議事録の確認。2) RTM の実績のとりまとめ。3) 岩盤分類の検討。4) その他。

(64) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 13 分科会 (48.8.2) 出席者：村田主査，ほか 4 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち人工軽量骨材に関する審議。

(65) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会鋼構造分科会幹事会 (48.8.3) 出席者：関係者 8 名。議事：鋼構造に関する検討。

(66) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 7 分科会 (48.8.3) 出席者：林主査，ほか 6 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち寒中コンクリートに関する条項の審議。

(67) 海外活動委員会打合せ (48.8.3) 出席者：吉越委員長，吉田主査，ほか 3 名。議事：海外事情に関するシンポジウム開催について日時，講師について打合せた。

(68) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 13 分科会 (48.8.6) 出席者：村田主査，ほか 4 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち人工軽量骨材コンクリートに関する審議。

(69) 学会誌編集委員会幹事会 (48.8.6) 出席者：天野委員長，中村幹事長，ほか 6 名。議事：1) 経過報告。2) No. 207 論文の取扱方協議。3) 今後の編集方向と担当者の選定。4) その他（北海道大会の件，ほか）。

(70) 学会誌編集小委員会 (48.8.6) 出席者：天野委員長，中村幹事長，ほか 9 名。議事：1) 経過報告。2) 学会誌 59 巻第 1 号の編集。3) 事後の編集方向協議。4) その他。

(71) 岩盤力学委員会運営委員会 (第 3 回) (48.8.7) 出席者：水越委員長，飯田副委員長，吉中幹事長，堀主査，ほか 3 名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 岩の力学研究連合委員会幹事会報告。3) 第 4 回岩の力学国内シンポジウム開催について。4) ISRM 国際シンポジウム (1980 年) の日本開催について。5) 昭和 48 年度論文賞選考委員会委員推薦について。7) その他。

(72) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会製作分科会打合せ (48.8.7) 出席者：堀川主査，ほか 4 名。議事：製作分科会関連事項の検討。

(73) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 6 分科会 (48.8.8) 出席者：山崎主査，ほか 9 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち練り混ぜ，打込み，養生仕上げについて審議。

(74) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会コンクリート構造分科会幹事会 (48.8.9) 出席者：関係者 11 名。議事：コンクリート構造に関する検討。

(75) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会打合せ (48.8.9) 出席者：関係者 7 名。議事：昭和 48 年度調査方針について。

(76) 文献調査委員会 (48.8.9) 出席者：伊藤委員長，ほか 5 名。議事：1) 会誌 58 巻 9 号登載抄録について。2) 紹介記事について。3) 解説記事について。4) 委員の交代について。5) その他。

(77) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会 (第 19 回) (48.8.10) 出席者：岡内主査，ほか 18 名。議事：

耐風実験橋について。

(78) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会塗装仕様書原案作成班打合せ(48.8.10)出席者:関係者14名。議事:塗装仕様書原案の検討。

(79) 土木構造物の取替標準に関する研究委員会トンネル分科会(48.8.10)出席者:関係者11名。議事:トンネルに関する検討。

◎その他

(1) 関東地震50周年記念地震工学シンポジウム運営委員会幹事会(48.7.10)出席者:久保幹事長,ほか5名。議事:1)議事録の確認。2)提出論文原稿の確認ならびに取り扱いについて。3)司会者,挨拶等について。4)当日の運営方法について。5)今後のスケジュールについて。6)その他。

(2) 関東地震50周年記念地震工学シンポジウム運営委員会(第3回)(48.7.16)出席者:岡本委員長,ほか10名。

議事:1)議事録の確認。2)提出論文原稿の確認ならびに取り扱いについて。3)司会者挨拶等について。4)当日の運営方法について。5)今後のスケジュールについて。6)その他。

(3) 第9回水工学に関する夏期研修会(48.7.25~8.2)

場所:大阪大学工学部図書分館視聴覚ホール
講演題数:Aコース:8題
Bコース:10題
参加者数:Aコース:122名
Bコース:117名

支 部 だ よ り

◎関西支部

(1) ケーソン工事の省力化に関する研究会(48.7.26,大阪科学技術センター)

共催:(社)土木学会関西支部・(社)建設コンサルタンツ協会大阪支部・建設技術資料センター
題目と報告者等

- ① ケーソンの設計における省力化と問題点の検討ならびに省力化への提案
八千代エンジニアリング(株)大阪事務所
浜 幸 雄
- ② ホブソンの施工における省力化と問題点の検討ならびに省力化への提案
(株)大林組本店 長 石 暢 二
- ③ ニューマチック・ケーソンの施工における省力化と問題点の検討ならびに省力化への提案
白石基礎工事(株) 平川 脩 士
グループ・ディスカッション
司会 近畿地方建設局近畿建設技術事務所
島 崎 静
(社)建設コンサルタンツ協会
大阪支部 柳 田 保 男

参加者:77名

(2) 第3回幹事会(48.8.10,土木学会関西支部)出席者:松尾文部長,室田幹事長,ほか12名。



福井 經一・河村 忠男・記

下水道は一般の土木の分野においても異質のものかも知れない。現に土木技術の中でも河川,道路,港湾などはなやかさに比べて,この分野は地味なものである。

ところがこの地味な下水道が近年大いにクローズアップされてきたのである。急速な経済発展の結果,河川,海城等の水質悪化の現象,生活水準の向上による環境衛生に対する観念の向上などにより下水道事業は社会的に強く要請されるところであり,ここ数年は事業費の大幅増をみている。

このように,一般に注目されている下水道にもかかわらず,土木技術者の中でもその認識がまだ不十分である。そこで下水道について知ってもらうためにも,これら下水道の諸問題を中心に今月の特集はわかりやすく編集したつもりである。

編集に際して最も苦勞したことは,いかにしたら一般の土木技術者の方々にこの特集で下水道という専門分野のことがらをより多く理解していただけるかということで,われわれ編集委員が頭をいためたところである。

結局は,一見平凡にみえるかも知れないが,歴史的なものから将来の展望といったなかで技術的な問題点を組込んだ次

第である。

土木学会誌には,通常下水道に関する記事は少ないようである。今回,ここに下水道に関する諸件が特集されたことを機として,下水道という分野に対して少しでもより多くの方々を理解を深めていただければ幸いです。(福井)
「太郎杉」問題に杉は残すべしとする判決が出されたかと思うと,名古屋市の高速道路建設中止を求める市長発言問題が突然話題にのぼります。そして,数年来交渉を続けております中央道烏山の道路建設に係る交渉はそのヤマ場を迎えんとしております。また,これと呼応するかのように中央道調布ICでは,調布市議会を中心とする市民側の手により車公害から市民を守る,との立場から調布ICの閉鎖を求める実力行使が伝えられております。「何のためにつくるのか」「つくらなくてもよいからそのまま土木屋は開店休業としたら如何」等々,最近の物価の異常ともいえる上昇ぶりに刺激されてか,土木事業ひいては公共事業そのものに対する本質的な問いかけが多くなされはじめてきました。

道路建設の面のみならず,原子力・火力・水力発電所建設に係るもの,鉄道建設,上・下水道建設,その他,今日白眼視されない土木事業はほとんどないかの如き世相ともいえます。しかし,残念ながらほとんどの土木技術者は「つくること」に歓びを覚えてきた経歴に禍いされてか,以上のような「つくることへの基

本的な哲学」に対しては素手の兵士であり,建設の意義を問う市民サイドの十字砲火にさらされ,事態は一段と混乱してきております。どうすればよろしいのか?

やはり,地道に土木技術者の集団としての資質向上を計って市民のそして広義の自然が求める所をいち早く知り,その求めにより早くこたえていくより仕方のないことかと思われま。論議を重ね,他の方々の意見を容れ,そして討論を加え,社会の一員として,自然の構成員として自立していく,そして,その中からコンセンサスを獲得していく,これよりほかに良い方法は当面見付からないのではないかと暗たんたる気分です。

そのための,より公平かつ良好な議論の場として土木学会誌が利用されるならば,60年に及ぼんとする長い伝統も光り輝くのではないかと考えました。その第一陣といたしまして,今般より多くの方々,より新しい論客にそのスペースを提供すべく,新しい「土木学会編集方針」と「同投稿規則」を採択・公表いたしました。もとより,限られたスペースによりよき美酒を盛るべく全国から数多くの話題がよせられることかと存じますが,会誌編集委員会はその期待に答えられるよう,側面から新しい提言を支えたくご協力申上る所存との由,ご期待下さい。なお,11月号は「労働力と省力化」と題しまして,建設の第一線の話題を多面的に追う予定であります。(河村)